

献辞

経済学部長 伊代田 光彦

竹浪祥一郎経済学部教授は、本年3月31日をもって桃山学院大学を退任されることになりました。

先生は、1947年東京帝国大学経済学部を卒業され、帝国大学大学院在学、同大学社会科学研究所研究員、同研究所助手を経て、一時期執筆活動に専念されました。その後、中部日本新聞社の記者を経て、1963年に本学の経済学部助教授として就任されました。1965年教授に昇任、以来経済学部長、学長代理、学院常務理事、図書館長などの要職を歴任され、本学の今日を築き上げることに著しくご貢献下さいました。大学紛争真只中の1969年に学部長就任とこれに続く要職歴任が、本学にとって困難ではあったが重要な時期であり、この間の先生のご苦勞は察するに余りあるものであったと存じます。

就任以来、先生は29年間にわたり、社会主義経済論、国際経済論の講義をはじめとし、演習とともに幅広く社会科学概論、経済学、論文指導、総合講座などを担当されてきました。研究面では、大学ご卒業以来、国際経済学、なかでも社会主義経済論の分野では学会をリードするようなすぐれた研究を重ねてこられ、その膨大な業績は、末尾の著作目録の中に余すところなく示されております。

本学は、先生の長年にわたる研究・教育のご功績に報いるため、「桃山学院大学名誉教授」の称号を贈り、また、経済学部は本学経済経営学会と協力し、「竹浪祥一郎教授退任記念号」を刊行して、先生に献呈することになりました。

先生は学外でも数多くの活動をして来られ、特に学会活動では、国際経済

学会，社会主義経済学会，ソ連東欧学会，日本EC学会の会員として，また理事として活躍してこられました。なかでも，1977年には，日本スラブ東欧研究協会の設立に参画され，設立と同時にその理事長として8年間，次いで会長として6年間その重責を担ってこられました。

ご退職後も，健康にいっそう留意されてご活躍下さり，後進に対しても変わらぬご指導を賜りますようお願いする次第です。

1992年2月18日